



校訓 礼儀 質朴 自活

新堀小だより

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>

11月号

令和6年10月31日発行

校長 若林 寿



全国学力・学習状況調査(4/18実施※質問紙4/22)と埼玉県学力・学習状況調査(5/10実施)の結果についてお知らせいたします。

分析: 主幹教諭 花岡 重治

◇全国学力・学習状況調査◇

国語、算数ともに平均正答率が県を下回る結果となりました。各教科の課題は以下の通りです。

- 【国語の課題】①自分の考えが伝わるように、目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別するなど、書き方を工夫する。
②文の中における主語と述語との関係を捉えること。
③人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
④日常的に読書に親しむ。

- 【算数の課題】①かけ算で計算に関して成り立つ性質を活用し、計算の仕方を考えること。
②球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を理解し、立方体の体積を求めること。
③わる数が小数の場合の除法の計算をすること。

【学習や生活に関する質問から】自己肯定感に関する項目において全国や県と比較してとても高い数値

	国語	算数
本校	65.0	62.0
全国	67.7	63.4
埼玉県	69.0	64.0

	R6	R5	R4	R3
本校	56.1	53.1	44.9	55.0
全国	47.7	42.6	39.4	36.2
埼玉県	43.4	46.1	43.7	40.8

◇埼玉県学力・学習状況調査◇

4年生、5年生は国語・算数ともに県の平均正答率を上回りました。6年生については、国語は県の平均正答率を上回りましたが、算数は下回る結果となりました。正答率が低かった問題や無回答率が高かった問題は以下の通りです。

4年生	国語		算数	
	平均正答率	レベル	平均正答率	レベル
本校	59.4	6-C	70.2	5-B
埼玉県	51.9	5-B	62.6	4-A
新座市	53.7	5-A	61.5	4-A

レベル: (低) 1-C ⇒ 9-A(高)、 伸び: (低) 0 ⇒ 3(高)

【国語の課題】

- 敬体・常体の不統一を直し、より良い表現に書き直すこと。
- 文中から主語・述語を選択すること。
- 同じ「部首」を持つ漢字を選び、「部首」の名前を答えること。
- 国語辞典で調べるために、動詞を言い切りの形に直すこと。

【算数の課題】

- 日常生活の中で必要となる時刻の求め方を考える問題の正答率が低かった。
- 表から、資料の特徴を読み取る問題の正答率が低かった。
- 日盛りのつけ方が異なる2つの棒グラフを比較し、数量間の関係について考える問題の正答率が低かった。

【国語の課題】

- 話を聞く時のメモの取り方を工夫する問題の正答率が低かった。

【算数の課題】

- 割合に着目し、値上げが大きいほうを選ぶ問題の正答率が低く、無回答率も高かった。
- 交換法則、分配法則の問題の正答率が低く、無回答率も高かった。
- 異数の線分を使って異なる2つの量の間数値、概数に明確に記述する問題の正答率が低く、無回答率も高かった。

5年生	国語		算数	
	平均正答率	レベル	平均正答率	レベル
本校	59.4	6-A/2	60.9	6-C/2
埼玉県	56.9	6-B/1	53.4	5-C/1
新座市	57.8	6-A/3	52.3	5-C/1

6年生	国語		算数	
	平均正答率	レベル	平均正答率	レベル
本校	57.2	7-C/1	48.5	6-C/2
埼玉県	56.7	7-C/0	50.9	6-B/1
新座市	57.1	7-C/1	50.3	6-C/1

【国語の課題】

- 修飾や被修飾を選ぶ問題の正答率が低かった。
- 辞書の使い方として適切になるように語を選択する問題の正答率が低かった。
- 読点を使って文章を推敲する問題の正答率が低く、無回答率も高かった。
- 文章に取り上げられている事象と異なるものを選択する問題の正答率が低かった。

- 【算数の課題】①小数の乗法や除法の計算、四則混合した式や()を使った計算の正答率が低かった。
②五角形の5つの角の大きさの和の求め方を説明する問題の正答率が低く、無回答率も高かった。
③合同な三角形をかくことができない条件のものを選ぶ問題の正答率が低かった。
④単位量当たりの量から平均からデータを求め、正しいものを選ぶ問題の正答率が低かった。
⑤円グラフにある百分率から数値を求める問題の正答率が低く、無回答率も高かった。
⑥帯グラフと折れ線グラフの読み取りから数量を答える問題の正答率が低く、無回答率も高かった。

◇課題解決に向けて◇

- 【国語】①相手が伝えたいことは何かを考えながら聞くことを意識させるとともに、ポイントをおさえたメモの取り方を指導していく。
②文を書く際は、話し言葉と書き言葉の違いを意識させる。
③主語・述語・修飾語の学習については、系統的に学習に取り組み、主語・述語の意味を考えながら読んだり書いたりさせるようにする。
④国語辞典の使い方については、難しい言葉があった場合など辞典等を引かせたりする学習機会を意図的に設けていく。
- 【算数】①小数の除法、分数の加減乗除の計算方法について、復習する機会を設けるようにする。
②交換法則等の式のきまりは、既習内容を確認し、関連付けさせて指導し、理解を図る。
③グラフの学習については、他教科とも関連付けさせながら指導していく。
④図形の学習については、学習した際に、確実に学習内容を定着させるとともに、定期的に復習に取り組みさせていく。
⑤割合については、図や線分図で関係を捉えさせたり、日常生活に結び付けて考えさせたりしていく。
- 【全体】○Qubenaを活用して、継続的に復習に取り組みさせて、確実な定着を目指していく。
○正答率と質問紙の相関関係から、読書の推奨、キャリア教育の充実にも努めていく。